

Japanese Academy of Prosthetists and Orthotists

Passion

特集

第30回日本義肢装具士協会学術大会

第30回 日本義肢装具士協会 学術大会 業域の展開

大会長

保谷 純一

公益財団法人 鉄道弘済会
義肢装具サポートセンター

会期

2024年7月13日・14日

会場

埼玉会館

JR浦和駅(西口)下車 徒歩6分

会報誌

JAPO通信

Vol. 12

5月号 (2024)



Japanese Academy of
Prosthetists and Orthotists

特別講演

「からだと活動性をつなぐ義肢装具とその業域展開への期待」

緒方 徹 先生 東京大学医学部附属病院リハビリテーション科・部 教授

教育講演

I. 「義足リハビリテーションのエッセンス -臨床医から義肢装具士へのメッセージ-」

田中 洋平 先生 JR東京総合病院リハビリテーションセンター 主任医長

II. 「補装具費支給制度の基礎と告示改正のポイント」

徳井 亜加根 先生 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課自立支援振興室 福祉用具専門官

III. 「片側大腿切断者における非対称性歩行：基礎研究による知の蓄積」

保原 浩明 先生 東京理科大学先進工学部機能デザイン工学科 准教授

IV. 「脳卒中急性期からのリハビリテーションにおける装具療法の意義について」

高橋 秀寿 先生 埼玉医科大学国際医療センターリハビリテーション科 教授

V. 補装具のメンテナンス・フォローアップ体制の構築に向けて ～地域包括ケアシステムのスタートに伴う義肢装具士の業域～

春名 弘一 先生（北海道科学大学）堀切 康平 先生（株式会社リハビリの里）
鈴木 啓太 先生（PO-Links）石井 佑穂 先生（埼玉県総合リハビリテーションセンター）

シンポジウム

シンポジウムⅠ	業域の展開	「海外で活躍するPO」
シンポジウムⅡ	業域の展開	「他職種で活躍するPO」
シンポジウムⅢ	業域の展開	「様々な分野で活躍するPO」

スポンサードセミナー

デジタルトランスフォーメーションに向けて

株式会社バンキフ、株式会社プロテオールジャパン 株式会社ドリームGP
ラピセラ株式会社 川村義肢株式会社 （順不同）

実技セミナー

靴型装具の採型「来週から実践できる靴型装具の採型法」

中井 要介 先生 株式会社マイスター靴工房 KAJIYA

大腿義足の採型「一臨床に役立つ！ソケット適合を高める採型技術のポイント」

東江 由起夫 先生

新潟医療福祉大学リハビリテーション学部義肢装具自立支援学科

前腕義手 顆上懸垂式ソケットの採型と陰性モデル適合

模擬断端の活用とループックによる評価手法の導入【暗黙知を形式知へ】

高橋 功次 先生 有限会社タカハシ補装具サービス

※「指定演題」に関して参加者の方へVOD配信する予定です。

教育セミナー

義肢装具士のための研究のすゝめー「研究」を始めるための第一歩ー

山本 澄子 先生

国際医療福祉大学大学院 教授

学生企画

「義肢装具士の未来への展開

The Future and Development of Prosthetist and Orthotists～

義肢装具士を目指す学生と未来を考えよう！！～」

主催校：人間総合科学大学，国立障害者リハビリテーションセンター学院，
西武学園医学技術専門学校，新潟医療福祉大学（順不同）

タイムスケジュール

2024/7/13（土） 1日目

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	企業展示
大ホール	小ホール	第1展示室	第2展示室	ラウンジ	第3展示室 ホワイエ
9：00 開場					
開会式					
シンポジウムⅠ 「海外で活躍する PO」 9：30～10：30	一般演題 1 体幹装具 9：35～10：25	一般演題 4 足底装具 9：35～10：25			
教育講演Ⅰ 演者：田中 洋平 10：40～11：40	一般演題 2 3D技術・ 先進技術 10：40～11：40	一般演題 5 下肢装具① 10：40～11：40	【MW】 バシ フィックスサプライ 10：40～11：25	実技セミナーⅡ 「大腿義足の採型」 10：30～11：30	
日本義肢装具士 協会企画講演 演者：寺師 浩人 11：50～12：50				実技セミナーⅢ 「前腕義手の採型」 12：00～13：00	
教育講演Ⅱ 演者：徳井亜加根 13：00～14：00	教育セミナー 演者：山本 澄子 13：00～14：00	一般演題 6 車椅子+上肢装具 13：00～14：00	【MW】 Ossur Japan G.K. 13：00～13：45	実技セミナーⅠ 「靴型装具の採型」 13：30～14：30	企業展示 9：30～ 18：00
特別講演 演者：緒方 徹 14：10～15：10		一般演題 7 調査 14：10～15：00	【MW】 松本義肢製作所 14：10～14：55		
シンポジウムⅡ 「他職種で 活躍するPO」 15：20～16：20	スポンサード セミナー 「デジタルトラン スフォーメンショ ンに向けて」 15：20～16：50	一般演題 8 英語セッション 15：20～16：20	【MW】 佐藤技研 15：20～16：05	生涯学習 標準カリキュラム 臨床基礎コース 15：20～16：20	
創立30周年 記念式典 16：30～17：30	一般演題 9 靴 16：30～17：10	一般演題 10 義足① 17：20～18：30	【MW】 オットー ボック・ジャパン 16：30～17：15	生涯学習 標準カリキュラム 「新人プログラム」 16：30～17：30	
創立30周年 記念講演 演者：田澤 英二 17：30～18：30	スポンサードセミナー連携 一般演題 3 17：00～18：00				
1日目 終了（18：30）					
創立30周年 祝賀会 （18：30 開場）					

2024/7/14（日） 2日目

第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場	企業展示
大ホール	小ホール	第1展示室	第2展示室	ラウンジ	第3展示室・ ホワイエ
9：00 開場					
教育講演Ⅲ 演者：保原 浩明 9：15～10：15	一般演題 11 下肢装具② 9：15～10：15	一般演題 13 教育 9：15～10：05	【MW】 バンキフ 9：20～10：05	学生企画 「義肢装具士の 未来への展開」 9：15～10：45	
教育講演Ⅳ 演者：高橋 秀寿 10：25～11：25	一般演題 12 義足② 10：25～11：25	一般演題 14 義手 10：20～11：30	【MW】 プロテ オールジャパン 10：20～11：05		企業展示 9：00～ 15：00 (一般公開 11:00～ 15:00)
ランチョンセミナー インターリハ 株式会社	ランチョンセミナー (一般公開) Össur Japan G.K.			実技セミナーⅢ 「前腕義手の 採型」 11：15～12：15	
教育講演Ⅴ 演者：春名 弘一 堀切 康平 鈴木 啓太 石井 佑穂 12：45～14：15	シンポジウムⅢ 「様々な分野で活 躍するPO」 12：45～13：45	一般演題 15 活動報告+その他 12：45～13：55	一般公開 T 義肢装具体験 イベント 11：00～15：00	実技セミナーⅡ 「大腿義足の 採型」 12：45～13：45	
教育講演Ⅵ 連結パネル ディスカッション 14：25～15：25	市民公開講座 (一般公開) 14：00～15：00	一般演題 1 6 義足③ 14：05～15：15		実技セミナーⅠ 「靴型装具の 採型」 14：15～15：15	
表彰式・ 次大会告知 閉会式					
大会 終了（16：00）					

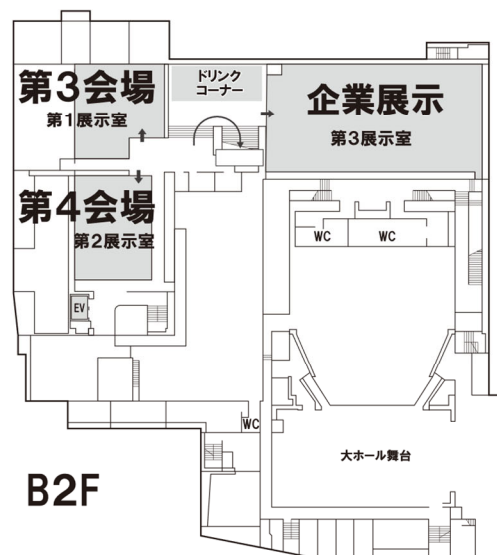
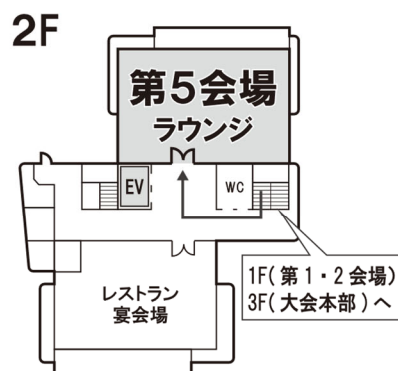


※予告なく変更することがあります。
最新の情報はHPをご確認ください。



※予告なく変更することがあります。
最新の情報はHPをご確認ください。

※実際の尺図とは異なります.



大会からのお知らせ

- ・事前参加登録開始

期間：2024年4月1日（月）～



事前参加申込QRコード

- ・浦和周辺のホテルの予約がとりづらい状況です。大宮や赤羽周辺のホテルもご利用ください。



浦和周辺情報QRコード

- ・最新情報をX（旧Twitter）やInstagram、詳細情報や周辺情報をFaceBookでお届けしています。



X (Twitter)



instagram



FaceBook

大会の今後の予定

- ・6月上旬に大会ホームページにて講演集（PDF）の公開を予定しています。

大会お問い合わせ先

大会長

保谷 純一

公益財団法人 鉄道弘済会
義肢装具サポートセンター

実 行
委 員 長

本道 伸弘

学校法人
早稻田医療学園 人間総合科学大学

副実行
委員長

後藤 直生

国立療養所 多磨全生園

大会事務局

第30回日本義肢装具士協会学術大会事務局

人間総合科学大学保健医療学部リハビリテーション学科義肢装具学専攻内

〒339-8555 埼玉県さいたま市岩槻区太田字新正寺曲輪354-3 E-mail: 30th.japo@gmail.com

運営事務局

株式会社コンベンションプラス 〒113-0034 東京都文京区湯島2-31-14 湯島ファーストジェネシスビル5階
TEL:03-4355-1135 FAX:03-6837-5339 E-mail:japo2024@convention-plus.com

令和6年度補装具費基準額改正のお知らせ

令和6年3月29日、官報（号外特第27号）におきまして令和6年度補装具費の基準額改定「補装具の種目、購入等に要する費用の額の算定等に関する基準（以下、基準額）」について告示がなされました。当協会は、昨年、厚生労働省の「令和6年度補装具費の基準額改定」の団体ヒアリングに対し、会員の皆様からいただきましたご意見をもとに、下記2題に関する要望書を提出しました。

- 1) 物価高騰に対応した基準額改定
- 2) 新たなコンセプトの大腿義足ソケットに対する技術料を基本価格に新設

また、本年1月15日に発行したPassiOn（会報誌 JAPO通信 Vol.11）に掲載しましたとおり、基準額改定に向け、昨年7月27日に補装具に関わる団体で「補装具関連7団体協議会」を結成しました。11月17日に各団体の共通する喫緊の課題である物価高騰対策のための基準額の見直し（20%引き上げ）と各団体個別の課題に関する要望書を、武見敬三厚生労働大臣に提出しました。

その結果、要望通りとはいきませんでした（新コンセプトの大腿義足ソケットの技術料の新設は見送られた）、基準額（基本価格、製作要素価格）が5～7%引き上げられたことをご報告致します。

以下、今回の告示改正の概要を記載します。

- (1) 基本価格・製作要素価格の5～7%増
- (2) 既製品装具（レディメイド）の新設
- (3) 車椅子・電動車椅子の基本価格の新設
- (4) 股義足の基本価格で、骨格構造・殻構造とも114%upへ改正
- (5) 体幹装具の基本価格にC-3（頸椎部単独）の新設
- (6) 従来の製作要素価格の足部C（標準靴）と完成用部品（標準靴）が統合され、足部B-2（標準靴）に。完成用部品（標準靴）は削除
- (7) 足部C（足底装具）の新設

詳細については、官報等をご確認ください。
物価高騰に対応した基準額改定については、現状では十分とは言えない状況です。

従いまして、当協会ならびに当委員会としては、義肢装具士の給与ベースアップに繋がるよう引き続き「補装具関連7団体協議会」と連携協働して、厚生労働省等に働きかけて行きますので、会員の皆様にはこれまで以上に協会の活動に参画をお願いいたします。

義肢装具等支給制度対策委員会
委員長 石原 栄治

第6期 単位制集計結果

日頃より、生涯学習委員会の活動に対しましては、会員の皆様にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

本会における生涯学習の一環として、平成17年度より単位制が開始され、3年毎に集計・報告を行なっています。2020年4月よりスタートした第6期単位制が、2023年3月に終了し、この3年間で会員の皆様が取得した単位について集計を行いましたので、結果をご報告させていただきます。

皆様が取得した単位は、「自動加算分」と「自己申請分」の2種類に大別されます。「自動加算分」は、本協会が主催する学術大会や支部セミナーへの講演・発表・参加、およびPOアカデミージャーナルへの執筆が対象で、それらに対応する単位数が自動的に加算されるものです。「自己申請分」は、隣接学際領域での学会講演・発表・参加、及び、他学会誌等への論文投稿などをご自身で申請していただくことで単位が加算されるものです。

取得上位の方をHP及び会報誌へ掲載させていただきますとともに、最上位取得者を第30回学術大会（埼玉）において表彰させていただきます。

I. 概 要

・該当期間：2020年 4月 ～ 2023年 3月

・対象単位：

自動加算分：本会主催の学術大会及び支部セミナーへの発表・参加、POアカデミージャーナルへの投稿等

自己申請分：隣接学際領域・国際学会への学会参加・発表、他学会誌への論文投稿・依頼原稿執筆等

II. 上位取得者

順位	会員番号	氏 名	単位数	自動加算	自己申請
1	10 02172	阿部 薫	121	9	112
2	10 02299	昆 恵介	41	41	0
2	10 02361	清水 新悟	41	41	0
4	10 00052	松本 芳樹	30	10	20
4	10 03807	時吉 健輔	30	30	0
6	10 02761	中村 隆	25	25	0
7	10 00021	東江 由起夫	23	23	0
8	10 03301	須田 裕紀	19	19	0
9	10 02345	小川 淳夫	18	3	15
10	10 02601	大西 忠輔	17	17	0
10	10 03645	田村 秋人	17	17	0

生涯学習委員会
委員長 笹川 友彦

公益社団法人 **日本義肢装具士協会****創立 30 周年 記念事業**

第 30 回 JAPO 学術大会埼玉大会と共同開催！

2024 年 JAPO は創立 30 年を迎えます。
30 周年を共に祝い、これからの未来を語りましょう！

開催日

2024 年 7 月 13 日 土

■ 創立 30 周年記念式典

■ 創立 30 周年記念講演

■ 創立 30 周年記念祝賀会

JAPO創立30周年記念事業のご案内

30年。我々が所属する公益社団法人日本義肢装具士協会は今年で創立30周年を迎えます。これから迎える未来もこれまでの過去も常に“今”の積み重ねです。過去の“今”を知ることは未来の“今”に繋がります。

Ⅰ. “耳”で振り返る30年-JAPO創立30周年記念式典/記念講演

第30回JAPO学術大会・埼玉大会（2024年7月13日・14日開催）内にて、記念式典を執り行います。記念講演では本協会初代会長である田澤英二先生に「JAPO30年のあゆみ（仮）」を語って頂きます！

Ⅱ. “全身”で振り返る30年-JAPO創立30周年記念祝賀会

第30回埼玉大会の初夜(2024年7月13日開宴)、浦和ワシントンホテルにて記念祝賀会を行います。是非とも参加して、たくさんの30年と交流しましょう！

Ⅲ. “目”で振り返る30年-JAPO創立30周年記念誌

主に20周年から30周年に起こったJAPOの出来事を中心に30周年にまつわるトピックなど、保存必至となる記念誌を目指して企画進行中です。2024年度中の発刊予定です。

今後、30周年記念事業の情報は、SNSやHPにて随時ご案内致します。

30周年を共に祝い、これからの未来を語りましょう！

JAPO30周年記念事業WG

委員長 山田 清隆

国際支援活動助成制度について

「国際支援活動助成制度」は本会の公益目的事業の一つとして、会員の皆様が行う国際的な支援活動を助成するものです。

助成条件は、つぎのとおりです。

- ①申請者が、主体となり自ら実施する国際支援活動であること
- ②営利活動や宗教・政治活動とは関連しないこと
- ③申請者は、義肢装具士免許取得後3年以上経過していること
- ④1事業年度中に1回の助成。事業年度は5月1日から翌年の4月30日までの期間。
- ⑤助成金の活用は、申請の翌事業年度から開始し 同事業年度内に終結すること

助成金額は、原則として1事業年度あたり50万円を上限としています。申請受付期間は、毎事業年度の8月～10月末までです。複数申請があった場合は、活動内容を勘案して案分されることがあります。



制度の詳細や申請手続きについては、「国際支援活動助成制度に関する規定」および「助成制度関連書式」を本会ホームページからご確認ください。

過去の実績として、モンゴルでのシリコンライナーを使用した義足製作講習会や、ネパール地震後の「リム・ケア・ネパール」への支援、キリバス共和国の「トゥンガル・リハビリテーションセンター」の火災に対する復興支援、財政破綻に陥ったスリランカの義肢装具士養成校への材料購入費の助成など、多くの支援活動への助成が行われました。これらの取り組みは、現地の患者さんや義肢装具士を支えるだけでなく、本会の国際貢献活動を対外的に示す一助となっています。

皆様の国際支援活動が更に広がり、世界中の義肢・装具ユーザーの健康と福祉に貢献することを心より願っております。

ご質問等がございましたら、いつでもお気軽にお問い合わせください。

国際委員会
委員長 田村 秋人
akitotam@gmail.com



令和6年度 定時社員総会

社員総会を下記のとおり開催いたします。代議員には別途、詳細を通知いたします。

開催日時：令和6年7月27日（土）

13:00～15:00

開催場所：義肢会館

開催形式：対面&Web

会費納入のお願い

本会は、皆様の会費で運営をしております。期日までの納入をお願いします。なお、正会員は、会費以外の負担なしで「**PO賠償責任保険**」に全員が加入しています。

会員数（2024.3.31現在）

正会員：2,290名	賛助会員：35名
購読会員：60名	学生会員：687名

日本義肢装具士協会 会報誌 JAPO通信 第12号

発行日：2024年5月1日

発行元：公益社団法人 日本義肢装具士協会

発行責任者：東江 由起夫

編集スタッフ：広報委員会

委員長：峯松 亜由美

委員：大塚 博

担当理事：植松 茂也